

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 菊池清治邸(八幡浜市有形文化財に指定(平成29年4月19日))

所在地 : 八幡浜市183番地

記入者: 眞田井 良子

記入日: 2021/3/23

カテゴリ : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|------------|---------------|-----------|
| 1 防災まちづくり | 2 福祉まちづくり | 3 景観まちづくり |
| 4 空き家まちづくり | 5 歴史・文化財まちづくり | |
| 6 その他() | | |

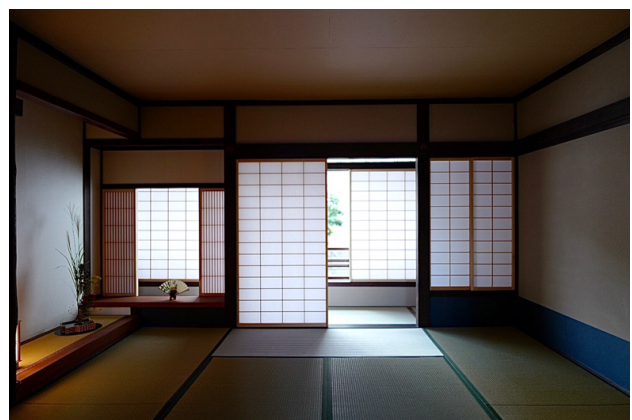
事例のポイント : 市民団体「菊池清治邸を活かす会」の保存再生運動により市指定文化財となり活用が図られている

概要(200文字程度) : 菊池清治家歴代当主には、幕末期に活躍し内海貿易で財を成し、明治に入り八幡浜銀行を設立した4代清治正明、東京帝国大学を卒業、広島高等学校校長・松山高等学校学長などを歴任し、八幡浜市長として市政の舵取りをした7代清治(名誉市民)などがある。建物は通りから見て店舗棟と右側の住居棟の2棟で構成され、漆喰塗りの白壁に店舗棟1階軒下に4枚、住居棟に2枚計6枚の彫刻を施した樺材の持ち送りが並び、木格子の店構えの外観。店舗棟の大黒柱は樺、土間に面した上がり框は桜材、2階は柱や長押に樺材、2階座敷の天井と壁面を和紙貼りとするなど、趣向を凝らしながら全体としては質実な家風を感じさせる。

毎月第2日曜に一般公開。貸室として利用可。(予約 八幡浜市民文化活動センター0894-213335)



外観



壁・天井和紙張り



中庭より



中庭の蔵